



日本ユニシス株式会社から2022年4月1日に社名変更しました BIPROGY株式会社

2025年11月17日

地域金融機関向けバンキングアプリ「#tsumuGO_mobile」が 川崎信用金庫において採用決定

BIPROGY が百五銀行との協業で提供する地域金融機関向けバンキングアプリ

「#tsumuGO_mobile」について、川崎信用金庫から採用決定を受けました。川崎信用金庫の新バンキングアプリは、2025 年 12 月から提供開始予定です。

「#tsumuGO_mobile」は、百五銀行が構築した「百五銀行スマホバンキング」アプリをベースに、BIPROGYがサービス提供型として開発したバンキングアプリです。フルバンキング機能を実装しており、場所や時間を問わず、いつでもどこでも金融サービスを利用できる環境を実現します。

【背景】

金融業界では顧客接点の多様化が加速しており、対面サービスだけでなく、アプリなどデジタルサービスへの対応が求められています。本状況下、川崎信用金庫では、中期経営計画「プラン2024-2026」にて利便性向上による顧客接点の強化を掲げ取り組みを進めています。BIPROGYは「# tsumuGO_mobile」を提供することで、各種手続きなど、オンライン化の拡充による利便性向上に加え、顧客接点を強化し、顧客満足度の向上を支援します。

【期待される効果】

「#tsumuGO mobile」の導入により、期待される効果は以下の通りです。

1. お客さまの利便性向上および営業店の業務効率化

口座開設、振込、お客さま情報の変更、学校諸経費口座振替の申請といった手続きなどをアプリで完結させることができ、来店せずにさまざまな金融サービスの利用が可能となります。勘定系システムとバンキングアプリの API 連携により、営業店での業務負担軽減、業務効率化を実現します。

2. 顧客接点向上と営業力の強化

アプリを起点として、顧客接点のつながりを広げる事を目指します。また、取引業務の負担を軽減し、より地域のお客さまに役立つ業務への注力が可能になります。

3. SDGs に向けた取り組みへの貢献

振込などの各種取引のデジタル化を推進することで、環境負荷軽減と経済の持続を支援し、 SDGs の目標達成に貢献します。

以上

【百五銀行スマホバンキングの効果】

百五銀行にて企画から構築を行った「百五銀行スマホバンキング」アプリは、2019 年からの稼働以降利用者数が継続的に増加しています。また、百五銀行の新規口座開設の約 90%がアプリを利用しており、アプリロ座の 1 ヶ月あたりの利用率は 80%超を維持していることから、本アプリをベースに開発した「#tsumuGO_mobile」でも金融機関および地域のお客さまのニーズに合ったサービスの提供と DX 推進の確実な効果が期待できます。

・百五銀行スマホバンキング https://www.hyakugo.co.jp/benri/sumaho_banking/

【#tsumuGO_mobile 概要】

「#tsumuGO_mobile」は、BIPROGY と百五銀行が協業提供する金融機関向けバンキングアプリのうち、サービス提供型方式にあたる BIPROGY バンキングアプリであり、「百五銀行スマホバンキング」アプリをベースとしています。

本人確認においては、株式会社 Liquid が提供する「LIQUID eKYC」を導入しており、オンラインで本人確認を完結することが可能です。これにより、口座開設やお客さま情報の変更時の時間や手間を大幅に削減し、効率良くお取引が可能になります。

本アプリは、「地域のお客さまと一緒に"紡ぎ"あげるアプリ」をコンセプトに、地域金融機関や地域のお客さまの声をもとに進化を続け、エンドユーザーが「いつでも」「どこでも」「だれでも」「気軽に使える」機能を拡充するとともに、金融機関へデジタル化による新しい営業活動の場を提供し、地域活性化と住みやすい街づくりを支援します。

・地域金融機関向け BIPROGY バンキングアプリ「#tsumuGO_mobile」

https://www.biprogy.com/solution/service/tsumugo.html

【LIQUID eKYC 概要】

ネット上での契約やアカウント登録、口座開設時などに必要な身元確認をオンライン完結で行うサービスです。住所変更などの諸届変更、日常的に顧客の取引実態を把握する継続的顧客管理などの手続きもオンライン化します。運転免許証やマイナンバーカードなどの本人確認書類の撮影、もしくは IC チップの読み取りを行い、自撮りの顔写真との照合を行う方式や公的個人認証(JPKI/スマホ JPKI) に対応可能です。独自の AI 技術、生体認証技術、OCR 技術などにより、撮影開始から完了までの離脱率の低さを実現し、ELEMENTS グループ合計で累計本人確認件数は約1.3 億件、累計契約数は約600社となっています。

・LIQUID eKYC https://liquidinc.asia/liquid-ekyc/(公的個人認証に関するページ:https://liquidinc.asia/jpki/)

■関連リンク:

- ・川崎信用金庫 https://www.kawashin.co.jp/
- ※百五銀行スマホバンキングは、株式会社百五銀行の登録商標です。
- ※#tsumuGO mobileは、BIPROGY 株式会社の登録商標です。
- ※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、 あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>



【コア事業での取り組み】

BIPROGY グループが経営方針(2024-2026)で掲げるコア事業戦略として、五つの注力領域を定め、経営資源の集中により高い価値提供を目指します。本ニュースリリースの事業は、「ファイナンシャル領域」における取り組みと位置付けています。

BIPROGY グループは、多くのステークホルダーとの共創を通じて、地域経済の活性化を支援し、持続可能な社会の実現を目指します。

※BIPROGY グループ経営方針(2024-2026)

https://www.biprogy.com/pdf/com/managementpolicy2024-26.pdf